

ひめだ高松ニュース

No.981

'13.10.16

日本共産党 和歌山市会議員

10月も半ば、少し寒くなって

さすがに朝夕は少し寒くなりました。市役所は、10月末までワイルドズなので半ズンデを着ていますが、ちょっと風邪をひいたようです。きょうは長ズンデのYシャツにしました。季節の変わり目です。みなさんは、風邪をひかないようご注意ください。

第3回 わかやま住民要求研究集会

10月12日(土)第3回わかやま住民要求研究集会が耐震工事が終わりました。なつた県民文化会館会議室で開かれ、県下各地の日本共産党地方議員もたくさん参加しました。

全体集会の記念講演は、岡田知弘京都大学大学院教授が「憲法がいきる地方自治体をめざして」と題して、国が進める構造改革や道州制の方向と目的を説明するとともに、新しい時代の地方

自治構築への展望を語り、その発展を支えるのは各職場・地域での学習・調査・研究活動だと訴えました。午後には、①子育て・教育、②医療・福祉・介護、③産業・経済・町づくり、④防災・環境、⑤住民運動の5会場での分科会が行われました。和歌山市議団は各分科会に1人ずつ参加しました。私、ひめだは医療・福祉・介護の分科会に出席しました(内容は2面に)。分科会が終わったあとは、再度全体で集まり、各分科会の責任者よりその内容が報告されました。また、ゆたかで住みよい和歌山県をつくる会の政策(案)が発

表されました。とても中身が濃い集会でした。

こんにちは
日本共産党の
ふじい健太郎
です。
(その389)

介護保険の改善を

先だって赤旗日曜版の読者の方から電話をいただきました。10月13日付けの日曜版を見て「特別養護老人ホームへの入所を要介護3以上に制限し、これまで入所できていた要介護1とは門前払いする」と書いてあるが、ほんとうに入所なくなるのか、という内容でした。その人の話によると、要介護2で軽い痴呆症の母が一人暮らししているが、身内で介護できる人がなく、特別養護老人ホームに申し込み中だということでした。

「家族介護から社会での介護へ」のスローガンで始まった介護保険ですが、保険料は確実に徴収される一方で、いざ利用しようとする希望とありにはなかなかいきませ

ん。「安心の介護をめざして」今、改善を求める声を出していく時です。



ふじい健太郎
前県会議員

来年度は介護保険第6



誰のための社会保障改革?!

私、ひめたが参加した第2分科会では、助言者の金川めぐみ和大経済准教授から「社会保障制度改革国民会議の最終報告を考える」と題し、12年8月に社会保障制度改革推進法が施行され、同年11月に設置された「国民会議」の最終報告の概要に総論と各論、私見が話されました。自助、共助（保険）を基本に足りない

課題切実!! 多彩な活動報告

報告は、生活保護基準引き下げへの不服審査請求の取り組み（あざみの会・田中さん）、和歌山市の国保料や滞納世帯への差し押さえ（民商・西さん）、介護保険改善の取り組み（医労連・長谷さん）、障害者自

増と給付の抑制を図るといふ社会保障とは言えないものに変わらなければならないこと。実に腹立たしいことです。

立支援法の基本合意（10年1月）の完全実施をめざす和歌山の会の活動（連絡協議会・加藤さん）が。参加者からも年金引き下げや障害者介護ヘルパーの時間制限の報告も。報告に対する金川先生のコメントも。

こころは日本共産党

秘密保護法案成立阻止を日本共産党の穀田恵二国対委員長は13日放映のNHK「日曜討論」で、15日に招集される臨時国会で安倍内閣が成立を狙う国家安全保障会議設置

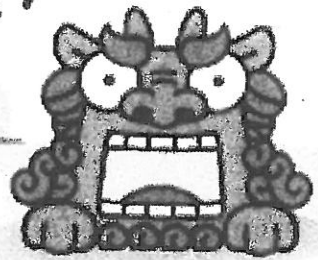
法案と一体の秘密保護法案について、「与党が言っている。知る権利の保障ができないのがこの法案だ」と批判しました。

穀田衆院議員は、同法案はアメリカからの情報の共有と保護の出発点であり、集団的自衛権の行使を認めない憲法の条を壊し、日本がアメリカと一緒に戦争する国をつくる重要な一歩であり、憲法が保障する基本的人権をじゅうりんし、国民の目・耳・口をふさぐものだ」と指摘。

日弁連や日本ペンクラブ、日本新聞協会などが反対や懸念の声を上げていることを示して「成立を阻止するためがんばりたい」と表明しました。

カクサン句 オスプレイの騒音や事故におびえる 沖縄住民に平穏な暮らしを。

米国が
ゴリ押しばかりの
オス(押す)プレイ



しいさあ

日本共産党カクサン部HPより しいさあ

和歌の浦万葉新能を初鑑賞

10月13日(日)片男波公園野外ステージで、第15回和歌の浦万葉新能の公演があり、私、ひめたは初鑑賞。

第一部は「火入水式」と子ども達の能の謡曲と仕舞の発表。まだ明るかったのでパンフレットを読み本番に備えました。

第二部は狂言「二人袴」親離れできない息子と親バ

かな父親が訪問先で一つの袴を取り合う話をあもしろく演じます。

能「経政」は、一の谷の合戦で討ち死にした平経政の幽霊の話。言葉はほとんどわかりませんが、笛、大鼓、小鼓がなるともいえず良い音色で、お月さんや薪の火とともに雰囲気を感じることができました。